作成日〇年〇月〇日

芝浦　達也

研究業績一覧

（以下、青字は注意事項、および記入例などです。提出時には消してください。）

（論文、著書、受賞歴、特許、外部機関からの研究費受領歴、口頭発表等、最新のものから順に記述、年号はすべて西暦で表記してください）

査読付雑誌への投稿論文

（総計：〇報、うち筆頭著者：〇報）

（著者は最初に記してください。雑誌の巻、ページ数、発行年などの順番は下記とは異なって構いません。）

1. Tatsuya Shibaura, Miho Toyosu, Takuya Omiya, “Comparison of experimental and simulation results on catalytic HI decomposition in a silica-based ceramic membrane reactor”, Int. J. Grobalzation, 44(59), 30832-30839(2030); https://doi.org/10.1016/j.ijhydene.2030.09.132
2. Miho Toyosu, Tatsuya Shibaura, Takuya Omiya, “Development of silica membranes to improve dehydration reactions”, J. Jpn. Petrol. Inst., 62(5), 211-219 (2030) (in Japanese), https://doi.org/30.1627/jpi.62.211
3. 芝浦達也，豊洲美穂，水処理用ゼオライトろ過膜のための結晶粒界制御法の検討”化学工学論文集，35(1),122-126 (2030)

著書

（総計：〇冊）

1. “Current trends and future developments on (bio-) membranes”editors Tatsuya Shibaura and Ai Toyosu，25p～43p，elsevier，2030年8月17日(Chapter 2 Preparation of silica membranes by CVD method)
2. 芝浦達也，豊洲美穂，大宮拓也，“水処理膜の製膜技術と材料評価”サイエンス＆テクノロジー，2030年1月30日

受賞歴

（合計：〇件）

1. 日本グローバル研究開発機構　2030年度　研究開発功績賞“膜分離新ISプロセスの確立”：2029年10月1日
2. 第50回国際ナノテクノロジー総合展・技術会議（nanotech2030）プロジェクト賞（グリーンナノテクノロジー部門）：2030年1月31日
3. 2030年度日本グローバル学会　研究奨励賞：“芝浦工業大学のグローバル化の進展について”：2030年5月20日

特許

（合計：〇件）

1. 芝浦達也，豊洲美穂，”分離膜及び分離方法”,特願2030-049438 , 出願日2030年3月15日
2. 芝浦達也，豊洲美穂，大宮拓也，” 新規プロセス用カチオン交換膜”,特願2030-026841, 出願日2030年2月16日

外部機関からの研究費受領歴

（合計：〇件、うち研究代表者〇件）

1. “グローバル化による大学の活性化”令和３０年度科学研究費補助金　基盤研究（Ｃ）（一般），30K05128，研究代表者　芝浦達也　令和２９年４月～令和３１年３月
2. ”学生の英語力向上の方法論確立のための調査”令和30年4月1日～令和33年3月31日：日本グローバル研究機構

口頭発表

（合計：〇件、うち招待講演〇件）

1. 芝浦達也，豊洲美穂，大宮拓也，“芝浦工業大学のグローバル化の現状について”，日本グローバル学会　年会2030，S7-2，(2030)，芝浦工業大学，2030年5月24日
2. 芝浦達也，“芝浦工業大学における産官学連携の進展について”，第30回グローバルフェスタ2030，(2030)，タワーホール船堀，2030年10月16日（招待講演）
3. Tatsuya Shibaura, Miho Toyosu, Takuya Omiya, “Dehydration of acid solution through inorganic silica membranes prepared by a chemical vapor deposition”, Proc. of the 45th Conference of Aseanian Grobal Society (AGS30), ThB1-1, Jeju Korea, (2030); (Invited speaker)

その他

1. 化学工業日報“芝浦工業大学創立100周年に向けて”2030年7月25日
2. 芝浦達也，豊洲美穂，“反応膜分離”，分離技術会講習会「反応を利用した分離技術」，(2030)，芝浦工業大学，2030年9月14日

以上